

こうかい

柳田星良

海のにおいがするあなたと

しばしの別れはなんともないのです

あなたはただ

やらめく海をラジオと渡つてゐるだけ

十月十日待つたら帰つてくると

約束しましたし

私はあなたを待つことが

けつこう好きです

声が聴けないのを

ときおり

さびしく思いますが

きりんの封筒の

お手紙に切手を貼れば

こちらは醤油の雨です

そちらもチリソースの雨ですか

とお返事がくるでしょう

私はといふと

書けることといつたら

自分の不運ばかり

なのであなたと一緒にしたいことを

綴ろうとおもいます

トマトと玉ねぎを刻んで

にんじんをすりおろしてもらつて

マリネしていたリモンチエッロで乾杯をする

タコスパーティーがしたいです

それからあなたの勇敢な

旅の面白い話でたくさん笑って

バスタブで酔っぱらってキスをして

コットンキャンディ・グレープ

を口に運んでもらって

あなたに甘やかされたい

サメ抱っこで

いつまでもいつまでも

あなたとくつついて寝たい

でも寝返りはうちたい

目が覚めたら

初デートに寄ったバーで

ひさしぶりにお酒を飲みたい

果物カクテルをゆっくりかき回して

三軒茶屋の路地裏で

ほどけるようなキスを交わしたい

そういうえば

あなたから預かつたアマレットも

枯らさないように

毎日見ています

私は植物枯らしの常習犯ですが
パリッと花が咲いたら写真を同封します

ですので海面のカーブから

私が見えなくなつたからといって
悲しそうな顔をしないでください

私はここにいます

いつの日も

海のにおいがする

あなたをずっと待っています

なので早く航海の帰路についてください

私はあなたに一刻も早く会いたいです

P.S. 小さなウミガメをつれて帰つてきてくれる、私は大喜びします